

第2章 人口の将来見通し

2-1 全市人口の見通し

国立社会保障・人口問題研究所（平成30年推計）による本市人口の将来見直しを示したものが下図です。

本市の人口推移の実績では、これまで一貫して人口増加傾向を示し、平成27年（2015年）をピークに令和2年（2020年）にかけて微減し、約11.4万人となりました。

本計画の目標年次（令和12年（2030年））には、約11.3万人とほぼ現状の人口と同等と予測されていますが、将来推計では、令和2年（2020年）をピークと予想しており、それ以降減少傾向に転じる推計となっています。推計予想では、令和22年（2035年）には約11.2万人（約2千人の減少）、令和27年（2045年）には10.7万人（約7千人の減少）になっています。

また、令和12年（2030年）の高齢化率は約28%と推計されており、市民の4人に1人以上が高齢者と予想されています。

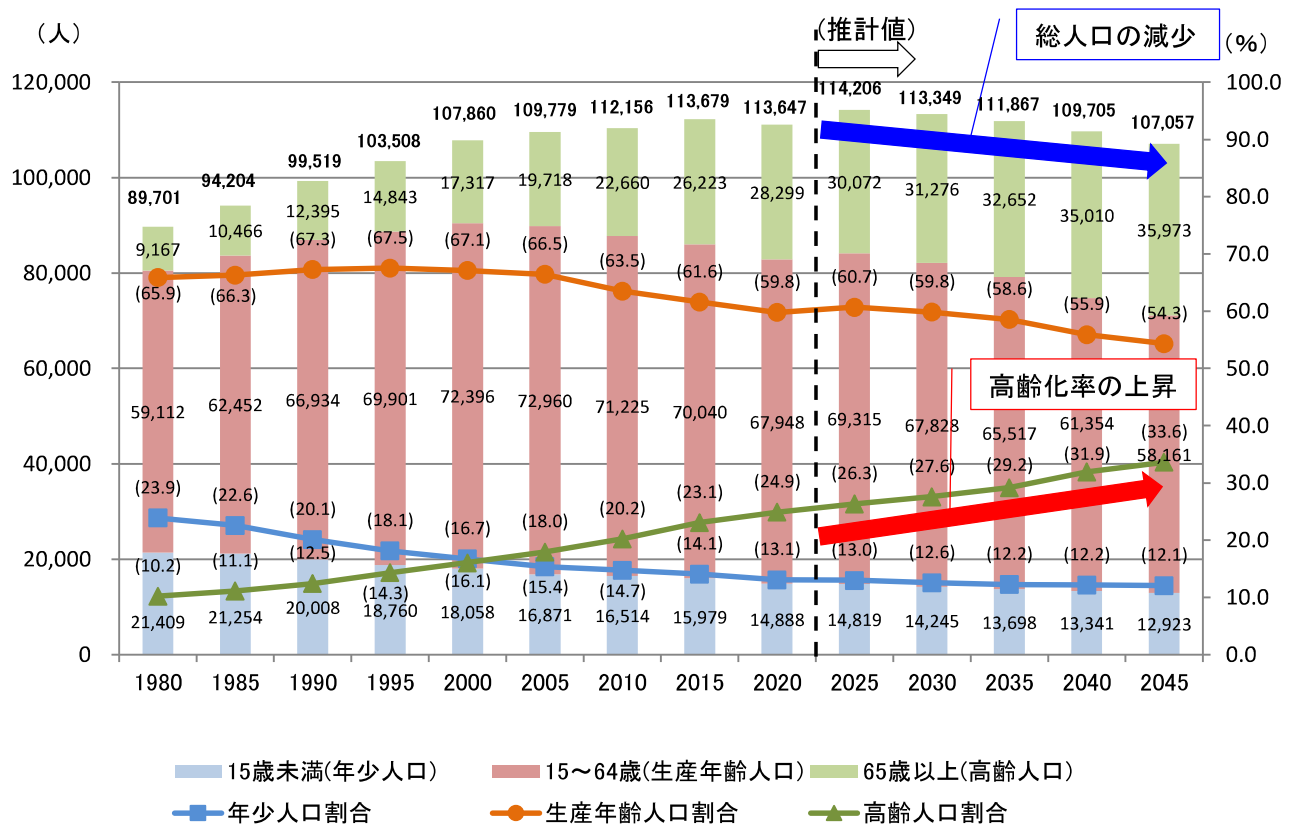


図 人口の将来見通し

資料：国勢調査（～令和2年（2020年））

国立社会保障・人口問題研究所「人口推計」（令和7年（2025年）～）



2-2 地区別人口の見通し

地区別人口の見通し*を以下に示します。

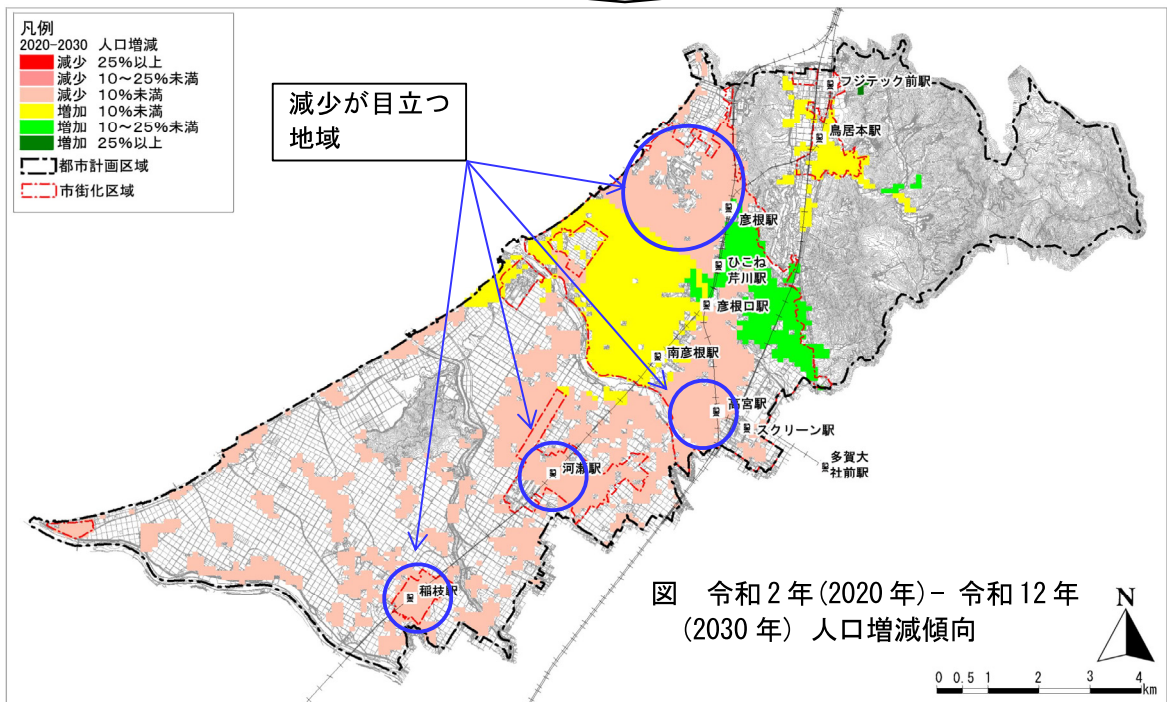
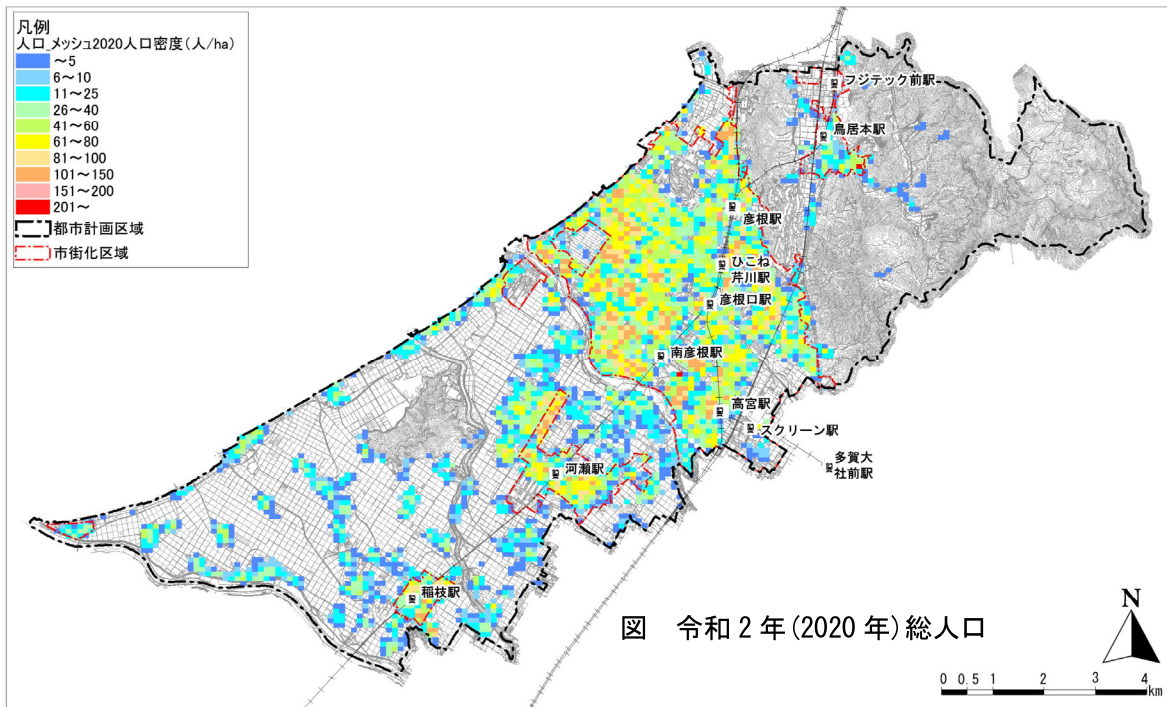
*彦根市都市計画マスタープラン（令和6年(2024年)3月）の見直しにあたり推計したもの

(1) 総人口の見通し

100mメッシュ単位での、令和2年(2020年)と令和12年(2030年)の総人口は下図のとおりで、彦根駅南東、南彦根駅西を除き、旧城下町、高宮駅・河瀬駅・稲枝駅周辺の人
口減少が予想されます。

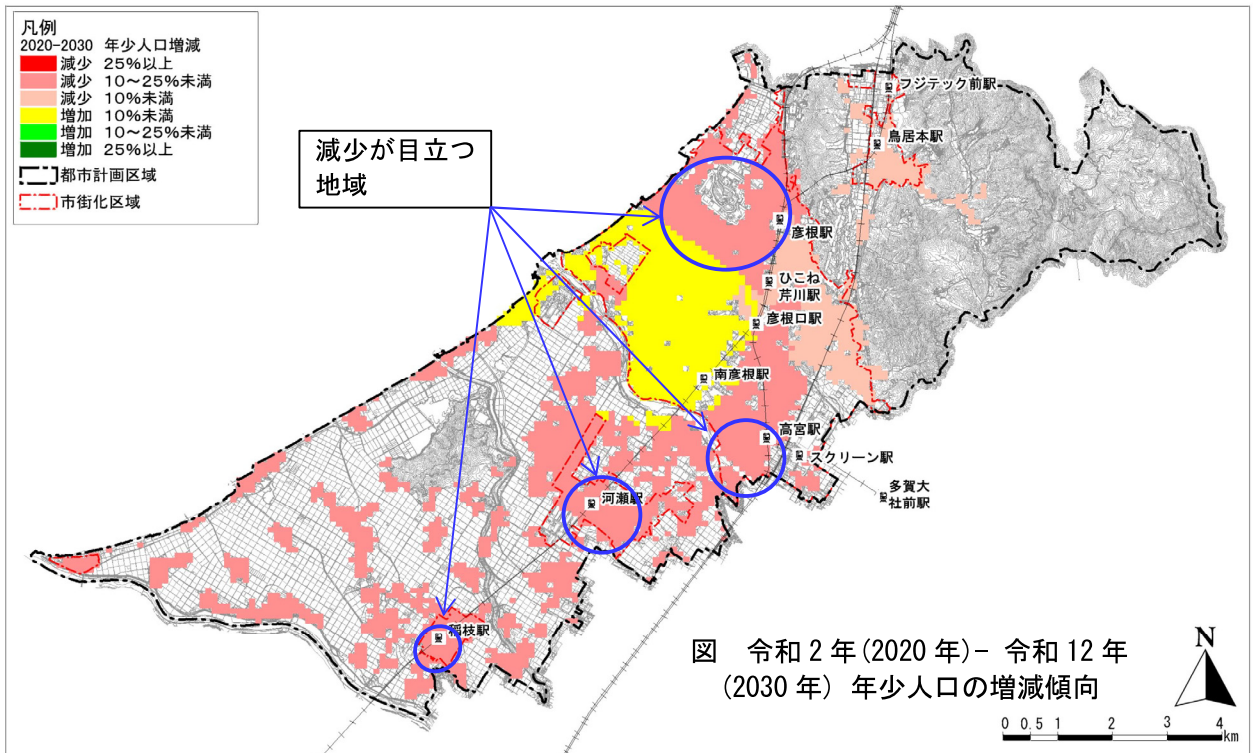
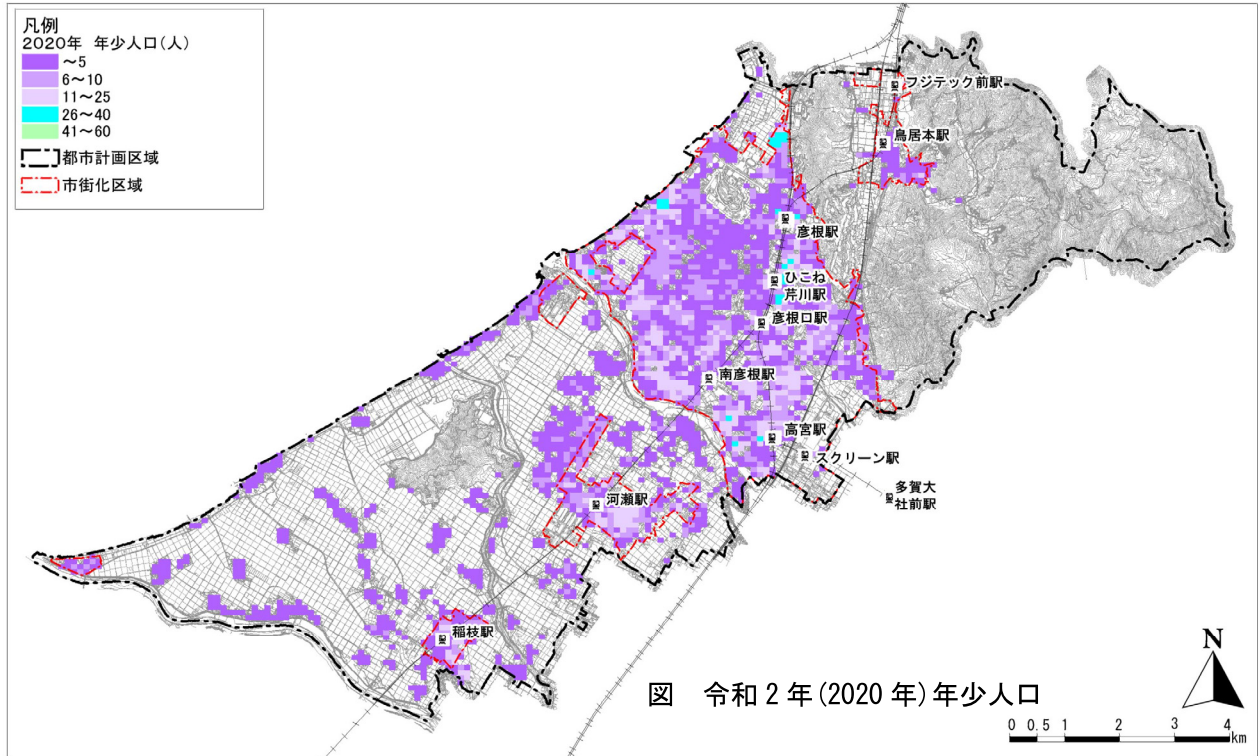
※文中の地域表現は下記による（都市計画マスタープランによる地域区分）

- ・鳥居本：鳥居本 ・旧城下町：芹川以北、JR線以西 ・新市街地：芹川～犬上川、JR線以西
- ・彦根駅東：芹川以北、JR線以东 ・南彦根駅東：芹川～犬上川、JR線以东 ・河瀬：犬上川～宇曾川
- ・稲枝：宇曾川～愛知川



(2) 年少人口の見通し

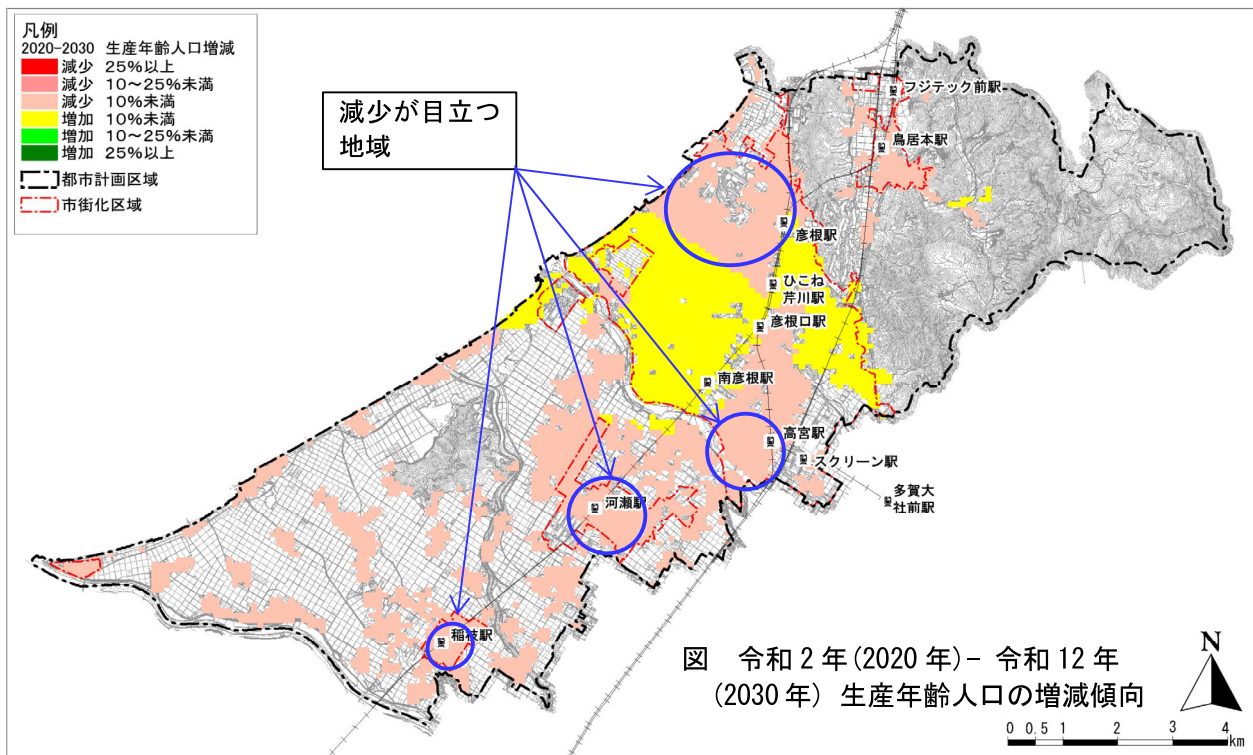
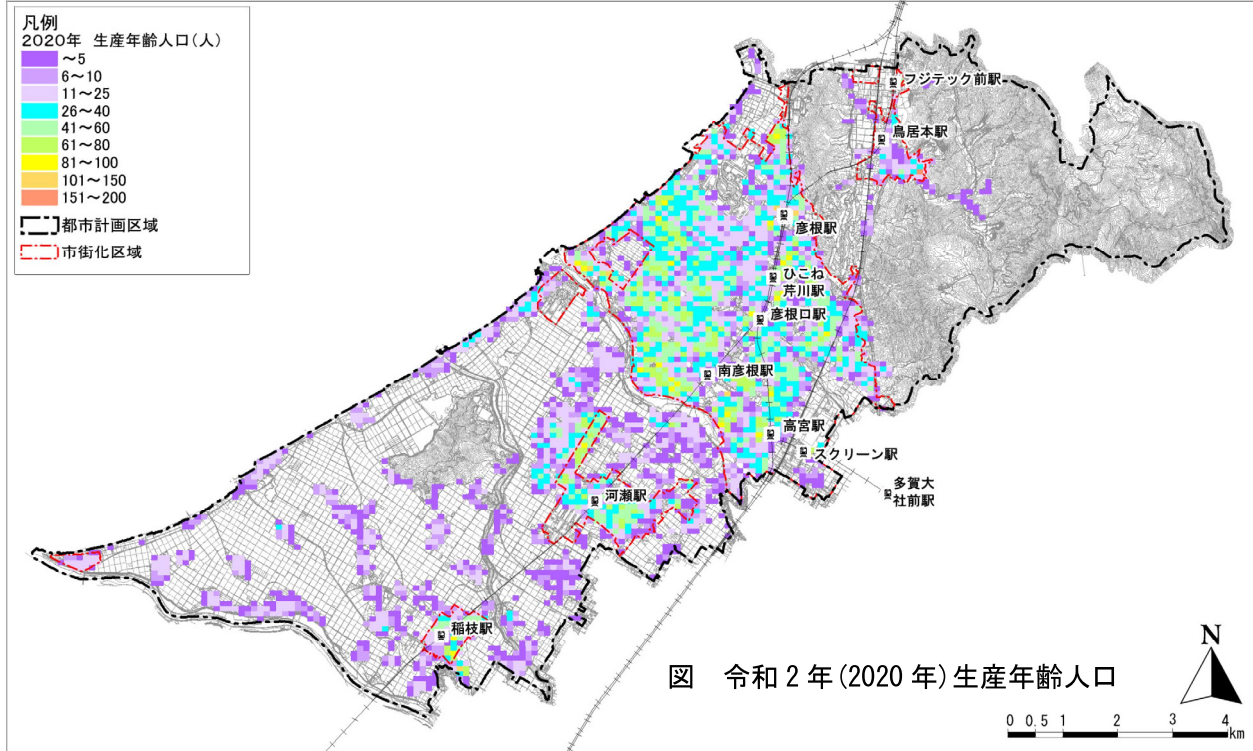
100mメッシュ単位での、令和2年(2020年)と令和12年(2030年)の年少人口は下図のとおりで、南彦根駅西を除き全市的に年少人口が減少することが想定され、旧城下町、高宮駅・河瀬駅・稲枝駅周辺で減少することが予想されます。





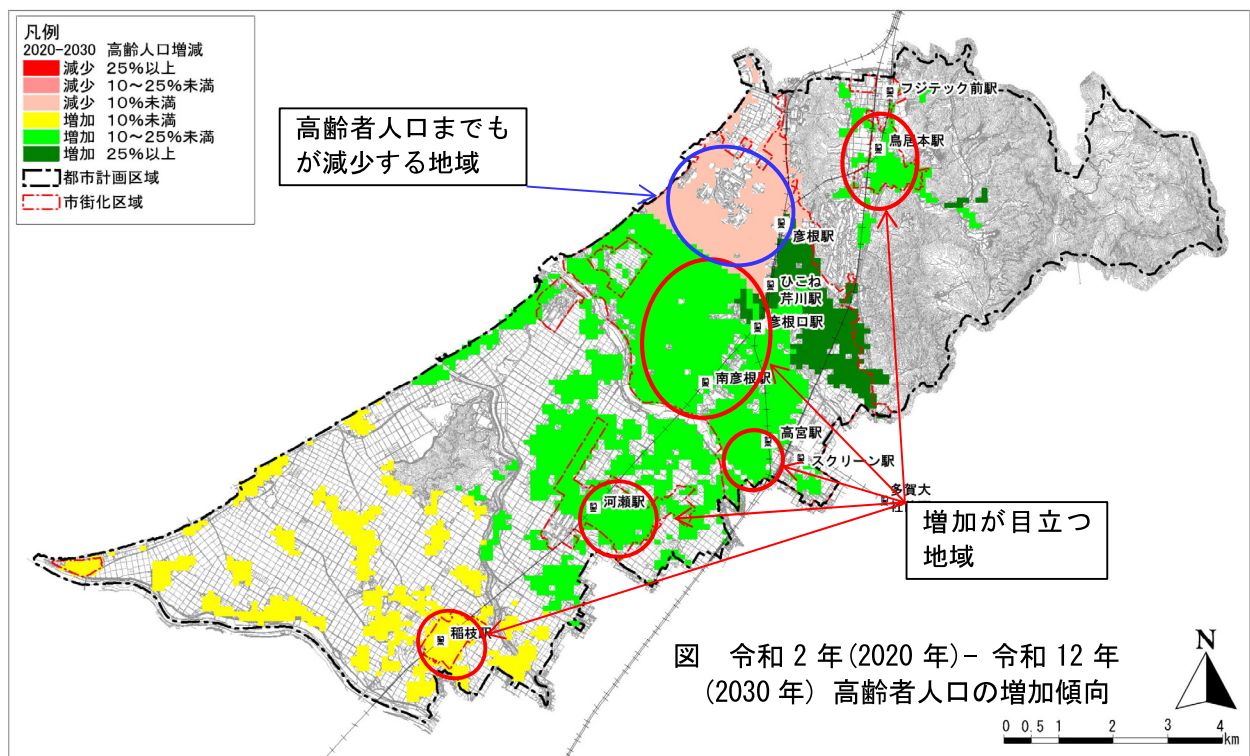
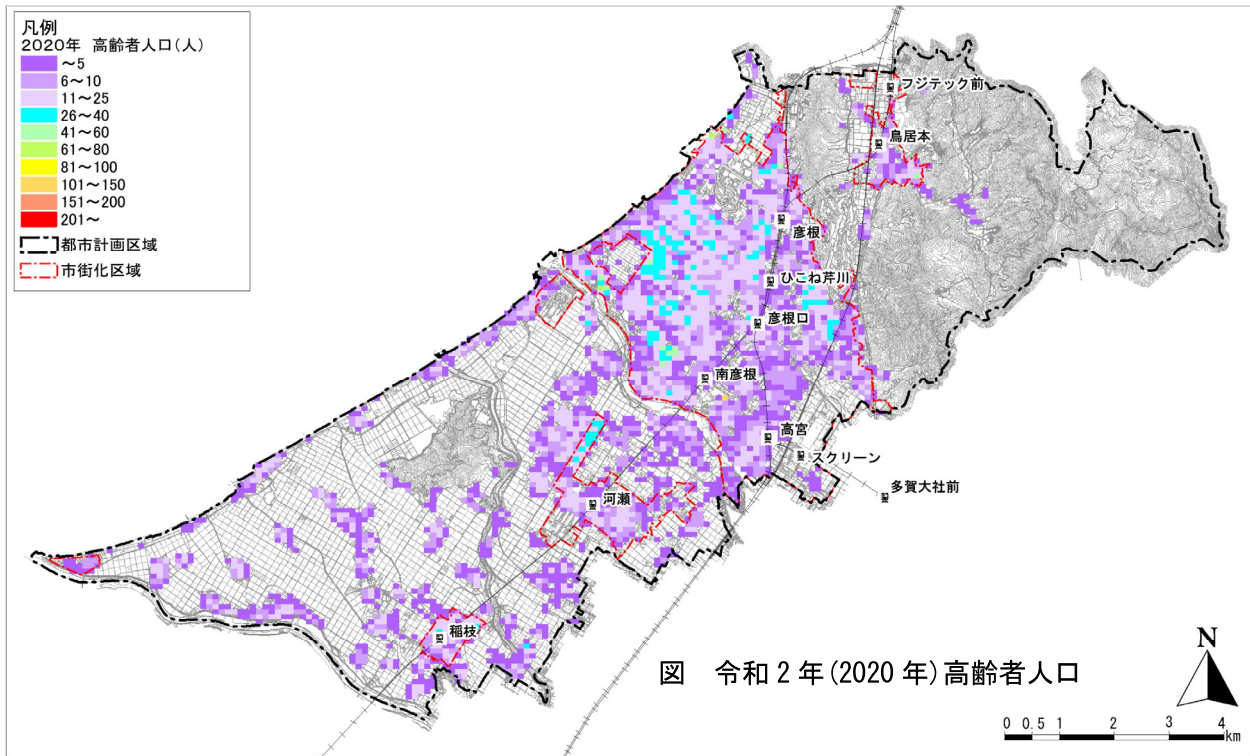
(3) 生産年齢人口の見通し

100mメッシュ単位での、令和2年(2020年)と令和12年(2030年)の生産年齢人口は下図のとおりで、南彦根駅西を除き全市的に生産年齢人口が減少することが想定され、旧城下町、高宮駅・河瀬駅・稲枝駅周辺で減少することが予想されます。



(4) 高齢者人口の見通し

100mメッシュ単位での、令和2年(2020年)と令和12年(2030年)の高齢者人口は下図のとおりで、高齢者人口については、鳥居本駅・南彦根駅・高宮駅・河瀬駅・稲枝駅で増加することが予想されます。なお、旧城下町においては、高齢者人口までもが減少することが予想されます。





(5) 人口密度の見通し

令和2年(2020年)から令和12年(2030年)にかけては、人口減少しますが、100mメッシュ単位での、令和2年(2020年)と令和12年(2030年)の人口密度は下図のとおりで、大幅な人口密度の低下は見受けられません。

